



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 ユミルリンク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4372 URL <https://www.ymir.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 亘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小林 幹彦 TEL 03-6820-0514
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 2026年3月27日
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期の連結業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円		百万円	%
2025年12月期	3,054	14.4	671	5.3	672	5.6	362	△22.8
2024年12月期	2,669	-	637	-	637	-	469	-

（注）包括利益 2025年12月期 362百万円（△22.8%） 2024年12月期 469百万円（-%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	94.65	-	12.4	19.2	22.0
2024年12月期	122.60	-	16.5	18.6	23.9

（参考）持分法投資損益 2025年12月期 -百万円 2024年12月期 -百万円

（注）2024年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期の対前期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	3,576	3,000	83.9	783.21
2024年12月期	3,435	2,846	82.9	742.96

（参考）自己資本 2025年12月期 3,000百万円 2024年12月期 2,846百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	502	△191	△269	2,581
2024年12月期	601	△150	-	2,540

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	-	0.00	-	55.00	55.00	210	44.9	7.4
2025年12月期	-	0.00	-	19.00	19.00	72	20.1	2.4
2026年12月期（予想）	-	0.00	-	20.00	20.00		20.9	

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年12月期期末配当の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 37円00銭

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,360	10.0	530	△21.0	533	△20.6	365	0.9	95.48

（注）当社グループは年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年12月期	3,892,600株	2024年12月期	3,892,600株
2025年12月期	61,637株	2024年12月期	60,837株
2025年12月期	3,831,513株	2024年12月期	3,831,016株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	2,909	9.0	739	13.4	743	14.1	386	△20.1
2024年12月期	2,669	15.3	651	10.0	651	10.0	484	18.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	100.90	-
2024年12月期	126.35	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	3,588	3,038	84.7	793.20
2024年12月期	3,375	2,861	84.8	746.70

(参考) 自己資本 2025年12月期 3,038百万円 2024年12月期 2,861百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年2月19日（木）に機関投資家向け及び24日（火）に個人投資家向け説明会を開催する予定です。また、決算説明の動画も別途制作し、投資家向け説明会の開催後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結損益計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調で推移したものの国際情勢の不確実性による影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、2025年12月11日に内閣府・財務省が発表した法人企業景気予測調査（2025年10～12月期調査）によれば、今年度における国内の設備投資のスタンスを見ると、全産業における大企業の「省力化合理化」が重要度第2位の45.0%であり、うち非製造業では「情報化への対応」が重要度第2位の47.8%と強く意識されており、当社グループが属する情報通信業界では収益機会が続くことを物語っております。

当社グループにおいては、2025年12月に月間では89億通を配信、年間を通じては955億通の配信を記録しメッセージ配信サービスの過去最高配信数を更新しております。

このような状況の中、当社グループは引き続き「SaaS事業成長」「顧客価値向上」に向け、積極的に取組みを行いました。

当連結会計年度におきましては、次のような提供サービスの拡充を行っております。

2025年6月にサイボウズ株式会社の業務アプリ構築クラウドサービス「kintone（キントーン）」と連携する「Cuenote Mail for kintone」の提供を開始しております。この連携によりkintoneからメール送信・添付ファイルの送り分けが可能となります。

2025年7月に連結子会社である株式会社ROCが、書籍「新・Instagramマーケティング解体新書～なぜあの企業は成功したのか～」を発売開始しております。また、9月に当社は、サイボウズの「kintone（キントーン）」と連携するソリューション「Cuenote SMS for kintone」及び「Cuenote Mail for kintone」の実績が認められサイボウズ社の「オフィシャルパートナー」に認定されております。

サービス提供種別の売上高の概況は以下のとおりであります。

- ・Cuenote SaaSのサブスクリプション（サービス利用）売上並びにソフトウェア保守売上：ストック型収益

当連結会計年度は顧客個別の要望に応じるエンタープライズ企業への導入が進んだことに加え、配信数を増加できたことから2,868,986千円（前連結会計年度比10.7%増）、当連結会計年度末定期契約額は252,376千円（同11.7%増）となりました。

- ・Cuenote SaaSの初期売上（初期利用登録、カスタマイズ、セキュリティ証明書などの取得代行）並びにソフトウェアライセンス売上（オンプレミス）：スポット型収益

当連結会計年度の売上高はSaaSの新規受注は底堅く推移したものの、前期のメール業界における特需の反動から、40,519千円（前連結会計年度比47.3%減）となりました。

- ・SNS運用代行売上、SNSアカウント初期設計費、SNSスポット広告、内製化支援研修、講演：ストック型及びスポット型収益

当連結会計年度の売上高は、145,063千円となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は3,054,570千円（前連結会計年度比14.4%増）、営業利益は671,214千円（同5.3%増）、経常利益は672,905千円（同5.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は362,640千円（同22.8%減）となりました。

なお、当社グループはメッセージングソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

(資産)

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べて140,810千円増加し、3,576,032千円となりました。これは主に、のれんが108,163千円減少した一方で、現金及び預金が40,626千円、売掛金60,145千円、工具、器具及び備品77,230千円、長期前払費用49,190千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べて12,776千円減少し、575,603千円となりました。これは主に、買掛金が41,295千円、未払法人税等63,037千円増加した一方で、未払金が39,168千円、未払費用21,689千円、長期借入金50,040千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べて153,586千円増加し、3,000,429千円となりました。これは主に、利益剰余金が151,893千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末より40,626千円増加し、2,581,086千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は502,169千円（前連結会計年度は601,378千円の収入）となりました。

これは主に、売上債権の増減額（△60,145千円）、未払金の増減額（△39,168千円）、長期前払費用の増減額（△49,190千円）、法人税等の支払額（△165,549千円）、税金等調整前当期純利益（591,541千円）、減価償却費（111,898千円）、減損損失（81,363千円）、のれんの償却額（26,799千円）、仕入債務の増減額（41,295千円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は191,714千円（前連結会計年度は150,067千円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出（△181,518千円）、無形固定資産の取得による支出（△10,296千円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、269,828千円の支出となりました。

これは、短期借入金の返済による支出（△9,040千円）、長期借入金の返済による支出（△50,040千円）、配当金の支払額（△210,746千円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの2026年12月期の業績は、国内のメール送信市場は今後も順調に拡大が見込まれており、またSMS送信市場も今後も高い成長率が見込まれることにより、売上高は3,360百万円と予想しております。

また、競争優位を確保するための設備投資及び、体制強化のための積極的な人材採用等により、営業利益については、530百万円、経常利益は533百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は365百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,540,460	2,581,086
売掛金	357,581	417,727
原材料	1,863	2,134
前払費用	66,706	84,611
その他	4,117	8,448
貸倒引当金	△1,696	△1,971
流動資産合計	2,969,032	3,092,037
固定資産		
有形固定資産		
建物	58,573	65,340
減価償却累計額	△32,217	△35,381
建物(純額)	26,356	29,959
工具、器具及び備品	613,918	791,342
減価償却累計額	△486,341	△586,534
工具、器具及び備品(純額)	127,577	204,808
建設仮勘定	4,200	-
有形固定資産合計	158,133	234,767
無形固定資産		
のれん	108,163	-
ソフトウェア	15,170	13,857
ソフトウェア仮勘定	24,150	28,747
その他	93	93
無形固定資産合計	147,577	42,697
投資その他の資産		
敷金及び保証金	89,576	89,576
長期前払費用	29,989	79,180
繰延税金資産	40,812	37,774
その他	100	-
投資その他の資産合計	160,478	206,531
固定資産合計	466,190	483,995
資産合計	3,435,222	3,576,032
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,201	89,496
1年内返済予定の長期借入金	9,040	-
未払金	68,758	29,590
未払費用	189,446	167,757
前受金	75,088	74,386
未払法人税等	89,430	152,468
未払消費税等	43,950	45,776
その他	14,421	16,127
流動負債合計	538,339	575,603
固定負債		
長期借入金	50,040	-
固定負債合計	50,040	-
負債合計	588,379	575,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,853	273,853
資本剰余金	191,351	191,427
利益剰余金	2,466,188	2,618,081
自己株式	△84,551	△82,933
株主資本合計	2,846,843	3,000,429
純資産合計	2,846,843	3,000,429
負債純資産合計	3,435,222	3,576,032

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,669,470	3,054,570
売上原価	872,976	1,066,370
売上総利益	1,796,494	1,988,200
販売費及び一般管理費	1,158,901	1,316,985
営業利益	637,593	671,214
営業外収益		
受取利息	265	3,266
業務受託料	200	-
その他	-	305
営業外収益合計	465	3,571
営業外費用		
支払利息	-	137
支払手数料	-	552
株式報酬費用消滅損	349	1,110
雑損失	238	80
営業外費用合計	587	1,880
経常利益	637,471	672,905
特別損失		
減損損失	-	81,363
特別損失合計	-	81,363
税金等調整前当期純利益	637,471	591,541
法人税、住民税及び事業税	174,529	225,863
法人税等調整額	△6,740	3,038
法人税等合計	167,789	228,901
当期純利益	469,681	362,640
親会社株主に帰属する当期純利益	469,681	362,640

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	469,681	362,640
包括利益	469,681	362,640
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	469,681	362,640

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	273,853	191,351	1,996,792	△87,908	2,374,089	2,374,089
当期変動額						
剰余金の配当						
親会社株主に帰属する当期純利益			469,681		469,681	469,681
自己株式の処分			△285	3,357	3,072	3,072
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						-
当期変動額合計	-	-	469,396	3,357	472,753	472,753
当期末残高	273,853	191,351	2,466,188	△84,551	2,846,843	2,846,843

当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	273,853	191,351	2,466,188	△84,551	2,846,843	2,846,843
当期変動額						
剰余金の配当			△210,746		△210,746	△210,746
親会社株主に帰属する当期純利益			362,640		362,640	362,640
自己株式の処分		75		1,617	1,693	1,693
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						
当期変動額合計		75	151,893	1,617	153,586	153,586
当期末残高	273,853	191,427	2,618,081	△82,933	3,000,429	3,000,429

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	637,471	591,541
減価償却費	82,014	111,898
減損損失	-	81,363
のれん償却額	-	26,799
株式報酬費用	8,186	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	50	274
受取利息及び受取配当金	△265	△3,266
支払利息	-	137
売上債権の増減額 (△は増加)	△35,941	△60,145
棚卸資産の増減額 (△は増加)	609	△506
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,625	41,295
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,912	1,825
未払金の増減額 (△は減少)	24,907	△39,168
未払費用の増減額 (△は減少)	50,146	△21,689
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,859	△17,905
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△21,043	△49,190
その他	49,246	1,824
小計	805,060	665,090
利息及び配当金の受取額	230	2,766
利息の支払額	-	△137
法人税等の支払額	△203,912	△165,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	601,378	502,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,687	△181,518
無形固定資産の取得による支出	△29,229	△10,296
敷金及び保証金の回収による収入	246	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△57,397	-
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	-	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,067	△191,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△9,040
長期借入金の返済による支出	-	△50,040
配当金の支払額	-	△210,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	△269,828
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	451,310	40,626
現金及び現金同等物の期首残高	2,089,150	2,540,460
現金及び現金同等物の期末残高	2,540,460	2,581,086

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書に関する注記)

※減損損失

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

場所	用途	種類	減損損失
株式会社ROC (兵庫県神戸市)	—	のれん	81,363
合計			81,363

減損損失の計上に至った経緯

株式会社ROCの株式取得により発生したのれんについて、当初想定した収益の獲得が見込めなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額81,363千円を減損損失として特別損失に計上しております。

グルーピングの方法

当社グループでは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

回収可能額の算定方法

のれんの回収可能価額については、将来の事業計画に基づく使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを11.7%で割引いて算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、メッセージングソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	742.96円	783.21円
1株当たり当期純利益	122.60円	94.65円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	469,681	362,640
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	469,681	362,640
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,831,016	3,831,513

(重要な後発事象)

該当事項はありません。